

第3次おおむら歯なまる スマイル21計画



大村市

令和6年3月

【表紙の絵】

令和5年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

大村東彼歯科医師会

大村市長賞

日本学校歯科医会

最優秀賞

富の原小学校 5年

御厨 麻智

はじめに

生涯を通じて、歯や口腔の健康づくりに取り組むことは、食べる喜び、話す楽しみ等、健やかで心豊かな生活を送るうえで重要です。

本市では、平成27年度に「第2次おおむら歯なまるスマイル21計画」を策定し、生涯を通じて健康な歯を保ち、いきいきと暮らすことができるよう、ライフステージに沿った切れ目のない歯科保健の取組を関係機関の協力を得ながら推進してきました。その結果、こどものむし歯や壮年期以降の歯の状況等、着実に改善しています。

しかしながら、生涯にわたる歯や口腔の健康が社会生活の質の向上に寄与することや全身の健康との関連性を踏まえ、歯や口腔の健康づくりの取組をさらに強化していくことが求められています。

今回、本市の現状や課題を踏まえ、引き続きライフステージに沿った生涯を通じた切れ目のない歯や口腔の健康づくりに取り組むために、「むし歯予防」「歯周病予防」「口腔機能の獲得・維持・向上」の柱に沿って、今後12年間の方向性を整理しましたので、市民の皆様、関係機関の皆様とともに推進していきたいと考えております。

最後に、本計画を策定するにあたり、市民の皆様をはじめ、ご協力いただきました健康づくり推進協議会委員の皆様、同協議会歯科専門部会の皆様に深く感謝申し上げます。

令和 6 年 3 月

大村市長 園田 裕史



【 目 次 】

1	計画の策定にあたって	
(1)	計画策定の背景	1
(2)	歯・口腔に関する現状と課題	2
2	計画の基本的な考え方	
(1)	計画の位置づけ	8
(2)	計画の期間	8
(3)	計画の策定体制と推進体制	9
(4)	基本目標と施策	10
3	施策の取組	
(1)	胎児期（妊娠期）：丈夫な歯の土台をつくる	14
(2)	乳幼児期：むし歯のない健康な歯を育む	15
(3)	学童期：正しい生活習慣の定着を図り、むし歯のない永久歯をつくる	17
(4)	思春期：正しい生活習慣の定着を図り、自分の歯を自分で守る	19
(5)	成人期：正しい生活習慣を維持し、歯周病を予防する	21
(6)	壮年期：正しい生活習慣を維持し、健康な歯・口腔の状態を保つ	23
(7)	高齢期：歯の喪失と口腔機能の低下を防ぐ	25
(8)	目標値	27
4	資料編	29